

貝殻ポーラスコンクリートのご紹介



ホタテやカキの貝殻が
漁礁に生まれ変わります。

このままの形では廃棄物...



未利用資源を活用するための技術



ホタテやカキやアコヤ貝などは私たちの暮らしを豊かにしてくれる海の幸ですが、その貝殻はゴミとして処分され、自然を改変して作られる広大な処分場と費用が必要となっています。

「自然から生まれた貴重な資源をできるだけそのまま役立てたい」という思いを形にしたのがポーラスコンクリートという技術です。貝殻を材料として作られるカルベースは未利用資源の活用を図るだけでなく、人工の漁礁に自然環境に近い形状や素材を取付けることで魚の餌を生み出すための生態系を海底に作り出すことができる、自然環境に配慮した製品です。



アコヤ貝を使用したポーラスコンクリート



空隙と付着の様子(切断面)



株式会社 高村ホールディングス 研究開発センター

〒327-0324

栃木県佐野市山形町699

TEL. 0283-65-0314

FAX. 0283-65-1269

本社：〒164-0001

東京都中野区中野1-32-16

TEL. 03-3363-5588

FAX. 03-3227-3024